

2012年3月1日

お客様各位

大山日ノ丸証券株式会社

ノルウェー輸出金融公社の格下げについて

拝啓 平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、スタンダード&プアーズ・レーティングス・サービスズ（以下『S&P』といいます。）は、2月15日付にてノルウェー輸出金融公社（以下『公社』といいます。）の格付をBBB+からBB+へ引き下げる旨を発表しましたのでご報告いたします。

敬具

記

S&Pの格下げの内容

（2012年2月15日現在）

| S&P  |     | （ご参考）<br>ムーディーズ・インベスターズ・インク |
|------|-----|-----------------------------|
| 変更前  | 変更後 | 変更なし                        |
| BBB+ | BB+ | Ba1                         |

S&Pの格下げの理由

公社の事業は、政府支援型輸出信用(CIRR ローン)に対する公社の業務を打ち切るとの2011年11月18日のノルウェー政府の決定を受け、段階的に縮小されている。公社の財務が危機的状況に陥った場合に、ノルウェー政府の特別支援を受けられる可能性を「ある程度見込める」から「低い」に修正した、結果として、公社の長期カウンターパーティー格付けを「BBB+」から「BB+」に引き下げた。

又、格下げ方向でのクレジットウォッチ（短期的な格付の方向性）を解除した。

ノルウェー政府等の動向について

ノルウェー政府は公社株式の15%を直接所有し、その他同政府が出資する民間銀行を通じて40%を間接保有しており、実質的な同政府保有比率は55%である。残りの株式についても、北欧の大手銀行を中心に保有されている。公社の業務縮小は、ノルウェー政府の輸出金融スキームの再構築の一環として行われるものであり、公社が現在の業務を移管する2012年7月以降、流動性不足に陥った際には、政府および株主である銀行が相応の資金支援を行うことが期待される。

ただし、ノルウェー政府が現時点（日本時間11月25日時点）では公社に対する明確な支援スタンスを明らかにしていないため、今後の同政府の動向に注意が必要と考えている。

当社では、ノルウェー輸出金融公社の動向について、引続き注視していく所存です。今後ともご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

以上